

インフルエンザウイルスの 感染力を99.9%低減する 「無添加住宅オリジナルしゅくい」

このたび、建材販売業の株式会社無添加住宅（代表者：秋田憲司 西宮市）が開発・製造・販売している「無添加住宅オリジナルしゅくい」に、昨今、大流行が懸念される高病原性鳥インフルエンザの感染力を低減させる作用があることがNPO法人バイオメディカルサイエンス研究会 習志野実験室にて確認できました。

**当社のオリジナルしゅくいも
石灰と同じ成分。
きっかけは鳥インフルエンザ。**

今回のきっかけは、鳥インフルエンザの発生した養鶏場に石灰が撒かれたというニュースを見て、同じ成分でできた当社オリジナルしゅくいで検査したところ、今回の結果が得られたというものです。今回の検査で使用したウイルスの種類はA香港型 (H3N2) ですが、高病原性鳥インフルエンザ (H5N1) もウイルスに対する効果（直接作用）は同じであるとウイルス学の研究者の間では常識とされています。（BMSA習志野実験室）

**いくら安全な天然素材であっても
「科学的に実験・検証して
住まいに活かす」これが私たちの
姿勢です。**

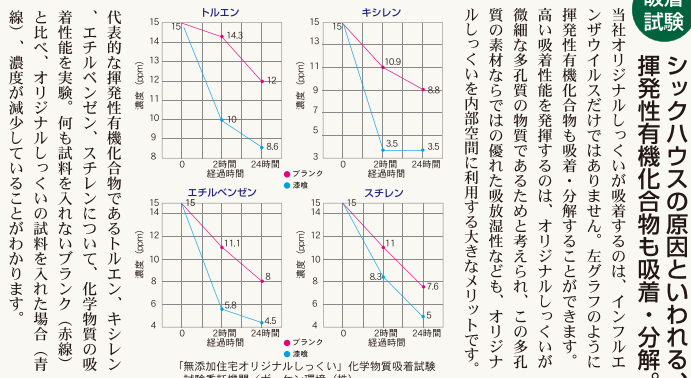
当社では、「無添加住宅オリジナルしゅくい」を、住宅から集団感染の危険性が高い幼稚園や保育所などの教育施設、病院・老人ホームまでの幅広い分野にて現在使用していただいております。見た目も昔のお城や土蔵のような和風なテイストではなく、南欧風の温かい雰囲気味わえるオリジナルしゅくいです。また、この実験のほかにも、揮発性有機化合物（シックハウス症候群の原因といわれる物質）の吸着実験や、耐火実験なども既に行っており、その性能は検証済みです。



●「無添加住宅オリジナルしゅくい」耐火実験（確認済み）



NPO法人バイオメディカルサイエンス研究会 習志野実験室 で行われたウイルス塗布実験の様子

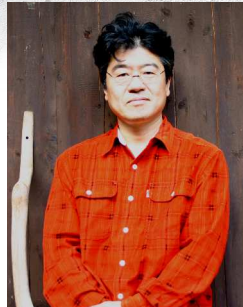


当社施工例



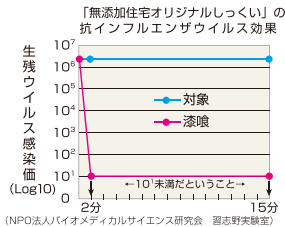
当社施工例

当社オリジナルしゅくいに、
ウイルスを付着させて
実験を行いました。



無添加住宅開発者
(株)無添加住宅 代表取締役社長
秋田 憲司

今回の検査では、当社オリジナルしゅくいにウイルスを付着させて検査しています。ウイルスは付着直後から不活化し、感染価は急激に減退しました。回収できたウイルスが0.033%未満で99.967%低減しました。検査開始15分後では更に顕著で、回収できたウイルスが0.000588%未満で、99.9999%の低減となりました。しゅくいの解毒作用でウイルスが死滅したのか、しゅくいに吸着されてしまったのかは立証できませんが、不活化して感染力が低減されることは間違いのない事実という結果がこの度確認できました。



耐火試験
昔から城や蔵に使われていたのは
しゅくいが火に強いから。

「無添加住宅オリジナルしゅくい」の耐火性能は耐火実験で検証され、準耐火構造にも認定されています。また、化学物質を使用していないため、燃えても有毒ガスが発生しないというメリットもあります。このオリジナルしゅくいが外壁だけでなく、内部の壁や天井にもふんだんに使われているため、屋内で発生した火事の延焼防止にも効果を発揮します。

